

JA たじまが能登半島地震の被害を受けた 畜産農家を支援！JA 全農いしかわにエサ寄贈

JA たじま（たじま農業協同組合 代表理事組合長 太田垣哲男）は、令和 6 年 1 月 1 日に石川県で最大震度 7 を観測した能登半島地震を受け、石川県の畜産農家を支援するために、JA グループの JA 全農いしかわに、和牛のエサとなる乾燥牧草を寄贈します。

寄贈にあたり、下記の通り取材を受け付けます。ぜひご取材ください。



※写真はイメージです。

寄贈について

石川県産ブランド牛「能登牛」の飼育する畜産農家は、地震による停電や断水、道路の寸断に伴い、水やエサ不足への問題が深刻化しています。牛に十分なエサや飲み水が与えられないことで、出荷再開できずにいる畜産農家は少なくありません。地震から約 3 カ月が経ち、石川県内外で支援の輪が広がっている中、兵庫県ブランド牛「但馬牛」をかかえる JA たじまとしても、何か支援ができないかという思いから、今回の支援に踏み切りました。

寄贈するのは、乾燥牧草（イタリアンライグラスストロー）約 2,400kg。畜産農家へ直接、乾燥牧草を輸送する予定でしたが、復旧していない道路等の懸念から、一括で JA 全農いしかわの倉庫へ納めて、個別で牧草を農家に届けます。



取材について

日 時：令和 6 年 4 月 4 日（木）9 時 30 分～10 時

場 所：但馬家畜市場

住 所：養父市大薮 1168

内 容：4t トラックに乾燥牧草の積み込み、代表理事組合長の太田垣哲男への囲み取材、
トラックが JA 全農いしかわ 能登牛肥育実験農場（石川県鳳珠郡能登町泉ろ 13）に向けて出発。

JA たじまは但馬地域を管内とする農業協同組合です。「たじまに生きる・たじまを活かす」をモットーに、農業発展と地域活性化に貢献するため多岐にわたる事業を展開しています。

この件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先

JA たじま 畜産部 畜産課 担当：福井

TEL：079-665-1500